

# 都市美

1931年～1942年刊

復刻版 全4巻・附録1・別冊1

都市「景観」を早々と提唱した本誌は、

都市の美観に関する総合研究雑誌である。

——近代建築、道路、住宅、街路樹、公園、

色彩、騒音、照明、広告看板……昭和10年を

映す名著『建築の東京』（収録写真500余点）も

附録として原寸大で復刻！



# 建築の東京

附録

監修 橋爪紳也（前 大阪市立大学教授）

解説 中島直人（東京大学工学系研究科都市工学専攻助教）

附録 『建築の東京』全1巻

別冊 監修の辞・解説・『都市美』総目次、執筆者索引

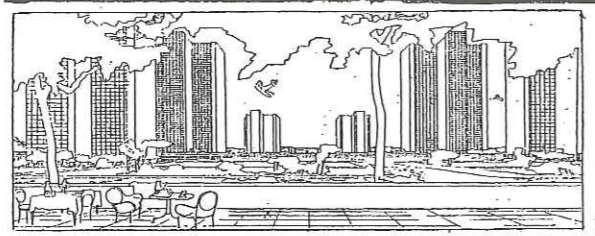
定価 本体揃価格100,000円＋税

不二出版



内容見本(下記見本は原本等倍)

(1) The Toshiba (號一第)  
 No. 1  
 1931. 4. 1.  
**都市美**



鳳吉内線人刷印兼輯編兼行發  
 所行發  
 會協美市都内會査調政市京東  
 地番五目丁三町錦區田神市京東  
 所刷印 田太  
 品賣非・行發日壹回壹月毎

**都市美**  
 創刊に際して  
 都市美協會會長 阪谷芳郎

近時我都市にも漸く都市美の聲が高まり、都市の複雑なる機構を打つて一丸とした一大調和體たらしめんとする要求が起りつゝあるのは、我都市の將來に對して慶ばしいことである。

然れども未だ過渡期の域を脱せざる我都市にあつては、一方に傳統的舊物が依然として存息するが如く、一方には突飛に新しいものが吾人の視野に現はれつゝあるといふが如き時期である。街路、建築を始め凡ゆる都市の施設に於て、そこに新舊錯居の不調和と同化状態と半開状態との齟齬とを見かける。斯る推移の劇しい今日の都市に對してはよほど強大な先行的統制力を働かすにあらざれば到底我都市を今日の無秩序と混亂と不調和から救ひ出すことが至難であらう。

都市美運動の眞の使命は、單に都市の細部の美醜如何を云爲するに止まらず實にその都市の進路を

**プリズム**  
 五條橋の擬寶珠

京都の五條橋は、牛若丸の唱歌で、兒童も皆知つてゐる。その橋には古來擬寶珠が名物で、それには辨慶と關つたときの牛若丸の下駄の齒痕さへ残つてゐるといはれてゐた。明治初年西洋風が大流行を極めたとき、府知事の横村正直、それをスツカリペンキ塗の西洋橋に改めて仕舞つた。明治十年、明治大帝行幸の御橋を渡らせ給ひ、「五條橋はなくなつたか」

との御問、知事殿は答へると「然らば、擬寶珠は」

との繪言、横村知事、大に恐縮して、速元の五條橋に架け換へた。

紀元2600年9月

**都市美**

31

第三回全國都市美協議會號

都市美協會

第31号の表紙(原本を43%に縮小)

効率的な活動場となすと同時に美しく愉快な健康地となすやうに仕向けてゆくところにある。斯る都市に於てこそ始めてその市民はシヴィックスピリットを持ちうるやうになりパトリヲチズムが助長される、近代の都市美運動は實にこのタウンプランニングと相俟つて市民に對しその搖籃地を約束する切實なるシヴィックアートでなければならぬ。

今度本會に於て創刊せるこの都市美なる雑誌はごらん通り極めて小冊子ではあるが、この種の雑誌としては我國に於て最初のものである。將來この都市美運動を促進せしむる上に多少の参考資料となり又刺戟となりうれば幸である。(完)

**都市美發刊に際して**  
 會長 阪谷 芳郎

**プリズム**  
 都市の美觀と建築  
 副會長 塚本 晴

杭州西湖(寫眞)………福原 信三

今日の東京に對し  
 I、最も風致を害しておる事  
 II、最も品位を下げおる事  
 III、是非とも實現せしめたる事

右に對する諸家の回答

**エトランヂエの眼に映じた歐洲都市の新建築様相**  
 平野 眞三

**喫煙室**  
 ングランド銀行の女像

**コイルピュジエの都市計畫**  
 (圖と解説)

**プロムナード**  
 (内外都市近時断片)

我が国では都市の美しさと品格を求める社会的な意識と関心の高まりを背景として平成一六六年に景観法が制定された。景観に対する社会的な関心は景観法制定の今日が最初ではなく、実は七〇年前に遡る。

大正末期から昭和初期にかけて、東京は関東大震災の帝都復興事業が進み、昭和通り、隅田公園、清洲橋、同潤会アパートの新設など、東京は美しく甦りつつあった。また、大阪では第一次都市計画事業が開始され、御堂筋の建設が着手され、淀屋橋の意匠コンペが実施された。東京、大阪の都市発展と水準の高い都市計画の実施を時代背景として、大正一

五年、阪谷芳郎男爵を會長として都市美協會が設立され、機関誌「都市美」が発刊され、意欲的な活動が行われた。都市美協會は植樹祭、建築祭、道路祭、全國都市美協議會など都市美運動を展開した。そして、東京の皇居の周囲、大阪の梅田駅前・中之島・御堂筋一帯に對して都市計画法の美觀地区が指定され、美しい都市空間の創出のために建築活動に對する法的なコントロールが実施された。しかし、戦争突入と空襲によつて日本の都市は灰燼に歸し、都市美に對する社会的な関心は失われ、美觀地区の運用は停止されたままとり、都市美という言葉が死語

となり、都市美協會はかろうじて組織は続くが活動は消え入るようになり、戦後復興と高度成長期の中で日本の都市の多くは醜く乱雑な姿で再生された。

雑誌「都市美」は我が国の先人たちが美しい都市の形成とひいては新たな都市文化の醸成に取り組んだ思考と軌跡を知ることが出来る貴重な歴史的価値を有する文献である。稀覯本であつた雑誌「都市美」の復刻は、景観法が制定された今の時代において、その意義はきわめて大きい。

**新たな都市文化の醸成に取り組んだ貴重な文献**

越澤 明(北海道大学大学院教授、社会資本整備審議会歴史的風土部会長)

近代の東京に建てられた建築を知ろうとするとき、まず依るべき写真集が四冊ある。最も時期が早いのが一九一五年(大正四)刊行の『東京百建築』。明治時代の大物はほぼ網羅されている。関東大震災後に刊行されたものに一九三一年(昭和六)の『東京横濱復興建築図集』と一九三六年の『明治大正建築写真聚覽』がある。内容は対照的で、前者は題名のとおり、震災直後のバラック建築が本建築に改まるまでの十二年間だけを対象とする。後者は日本全国から植民地まで網羅するが、過半は東京で、むしろ地震で失われたものを重視する。

もう一冊が、今回原寸大で復刻される『建築の東

京』にほかならない。『東京横濱復興建築図集』から四年後の出版であるが、掲載される作品には大きな違いがある。この四年間に出現した建築物の多さ、そして建築意匠の変化の大きさが反映しているのだ。四冊のうち『建築の東京』だけに載っているものといえ、まず竣工直前の国会議事堂、また、十年後にはマッカーサーがやってくる第一相互ビル(これも竣工前だが外観を掲載)。そして様式主義の輝かしい残映というべき明治生命館、服部時計店などの名作群がつづく。その一方で、モダニズム建築が、ようやく確立してきたその新しい空間性を誇示する。徳田ビル(土浦亀城)、四谷第五小学校(東京市営

繕)、日本歯科医専(山口文象)などの有名作品はもとより、吉田五十八の太田胃散工場、レーモンドの東洋オーチスエレベーター蒲田工場など地味な作品も収載されていて、モダニズムの滔々たる上げ潮ぶりを教える。

『建築の東京』に掲げられた五百余の写真には、建築が有する多様な魅力があふれている。そしてそうした建築物によつて造られる都市空間の魅力もひしひしと伝わってくる。『東京の建築』ではなくて『建築の東京』としたそのタイトルは、奇をてらつたやうで、その内容に実にふさわしいのである。

石田潤一郎(京都工芸繊維大学大学院教授)

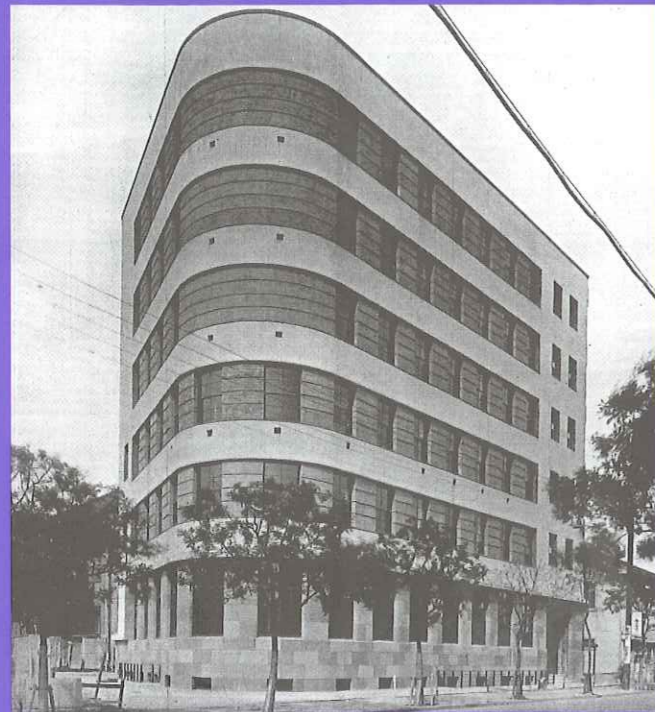
建築の魅力のすべてが





アパート同潤会 江戸川アパート

麻布区役所



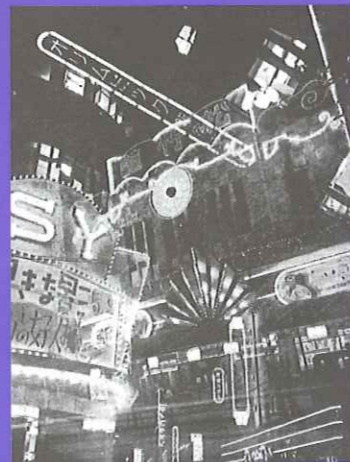
丸ノ内食堂



R氏邸



高島屋



銀座の盛り場の夜

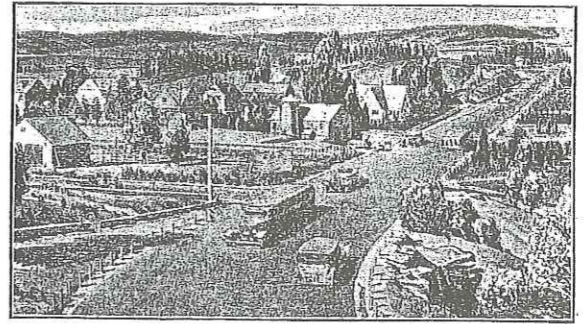


京浜国道 ライジングサン給油所

(第一号)

# The Toshiba

(4)



前田多門

一、糞尿車の通行する事  
二、公々然と遊廊の存在して居る事  
三、下水工事の速進と防火地区に所定の建物の完成する事。

敷野 田 俊 彦

風致を存せしめやうとか品位を保たしめやうとかいふ企てが最も風致を卑ふし、最も品位をけがす結果になつて居る様に思へます。極端な例は所謂街頭裝飾です。橋

## 東京

### 今日の

### 東京に對し……

- 1 最も風致を害して居ること
  - 2 最も品位をけがして居ること
  - 3 是非とも實現せしめたること
- 右に對する諸家の回答  
(但昭和三年末現在)

の欄干や親柱に妙なものをくつつける事も同じ例を出ません。私は上野の崖や東京驛前の大道路でも少しも感心しません。その細部の手法に感心しないといふよりはあんなものを作つて都市の美を増し得ると考へる考へ方に感心しないのです。風致とか品位とかいふものは何時までもローマ時代の標準で止まつては居ません。あれをデザインした人の考は、金があるなら大理石の石段や水瓶を配しカンランの木を植えて、裳を引

きづつて裸足で歩く貴婦人を通らせる様なものを作るのを、金が無いからあの程度に止めた様に思へてなりません。都市の美を増し度い一心ではあんなものしか出来ません。現在の都市に不足しているものは本當はあんなものぢやないぢやありませんか。馬場先の水呑場には夏の午後いつでも立ん坊が氣持よさそうに晝寝をしてゐます。何だか皮肉ぢやありませんか。結局都市美は何だといふ事は、都市が何だといふ事が分らなければ分らない事で、都市計畫の研究の外に都市美の研究といふものは無いのだらうと思ひます。若し都市計畫の研究以外に都市美として別に研究すべきものありとするもそれは婦人の肉體的並に精神的健康の研究以外に僅かな領域を有するかも知れない美容術の様なものに過ぎません。化粧品屋と、賣笑婦にその研究は委ねておいてもよいと思ひます。

貴問第三是非とも實現せしめた事は以上の様な考を一般に了解して貰ふ事少くとも貴協會に了解して貰ひたい事。

高橋千代

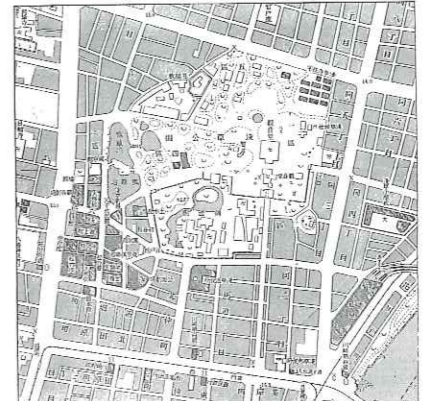
一、二、此項修理をはじめた様ですが、いつもお濠端を電車を通つて、あの石垣(九段邊から文部省裏手)の崩れたのが氣になつて仕方がありませんでした。

二、前同様のことがこゝにも言へる。風致を害することは即ち品位を害する事です。市民の都市に對する道徳が發達しない故、公園や道路に遺棄物が多く、掃除が行届かぬ、それから年中道路を掘りかへしてゐるのは止めたい。これは區劃統制に理想なき爲である。

三、區劃整理を向ふ三十年位動搖せしめぬ事、都市と郊外を區別すること都市及び隣接町村の道路を全部舗装すること、廣告制限法令を出すこと。

# 娯樂施設

都市美特輯號



昭和十五年七月 2600 1940  
30 都市美協會



Table listing various architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.

Table listing architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.

新建築

関連図書(復刻版)のご案内

Table listing architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.



内容案内 送呈

Table listing architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.

Table listing architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.

Table listing architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.

建築と社会

都市創作

史蹟名勝天然記念物

文化生活

Table listing architectural projects and institutions in Tokyo, including schools, museums, and public buildings, with page numbers.

目次中( )中の略号は次の如し(掲載順)



# 都市美

復刻版Ⅱ全4巻・附録1・別冊1  
附録——『建築の東京』全1巻

関連図書(復刻版)

## 近代建築画譜

近畿編

原 本

雑誌『都市美』 都市美協会発行、一九三一年四月(第1号) )  
一九四二年五月(第39号) [第15号は休刊]

『建築の東京』 石原憲治編、都市美協会発行、一九三五年刊行

『都市美』 B5判・上製・総一、五二六頁(全三八冊を全四巻に合本)

附録『建築の東京』全1巻・菊倍判・上製・箱入・三三四頁

附録は分売可 [定価Ⅱ本体価格四〇、〇〇〇円+税]

附録 ISBN978-4-8350-5846-7

原 本 発 行

近代建築画譜刊行会 佐々木武二編  
昭和十一年九月一五日発行

監 修

橋爪紳也(前大阪市立大学教授)

体 裁

A4判・上製・箱入・六七二頁

巻 数

全1巻

別 冊

別冊は分売可 [定価Ⅱ本体価格一、〇〇〇円+税]  
別冊 ISBN978-4-8350-5847-4

編 集 顧 問

武田五一、葛野壮二郎、飯高達夫  
今林彦太郎、鷺尾九郎

監 修

橋爪紳也(前大阪市立大学教授)

原 本 提 供

橋爪紳也・梅宮弘光

解 説

中島直人(東京大学工学系研究科都市工学専攻助教)

定 価

本体価格四八、〇〇〇円+税  
ISBN978-4-8350-5757-9

推 薦

陣内秀信(法政大学教授)  
初田 亨(工学院大学教授)

刊 行

二〇〇七年六月

全巻構成

第一巻『都市美』(第1号~第12号)三一二頁・B5判  
第二巻『都市美』(第13号~第21号)四三〇頁・B5判  
第三巻『都市美』(第22号~第30号)三五六頁・B5判  
第四巻『都市美』(第31号~第39号)四二八頁・B5判  
附 録『建築の東京』・別冊1

本体揃価格一〇〇、〇〇〇円+税

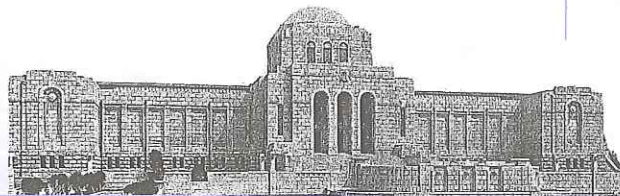
ISBN978-4-8350-5841-2

石田潤一郎(京都工芸繊維大学教授)

越澤 明(北海道大学大学院教授・社会資  
本整備審議会歴史的風土部会長)

刊 行

二〇〇七年十一月



原本の扉



このパンフレットの  
表紙の写真は上から  
・「建築会館」  
・「銀座の盛り場」  
・2001年の東京

## 不二出版

▶〒113-0023 ▶東京都文京区向丘 1-2-12  
▶TEL 03-3812-4433 ▶FAX 03-3812-4464  
▶振替 00160-2-94084

\*表示価格はすべて税別